

## 取扱説明書・追補版

## ファームウェアV1.30の新機能

ファームウェア V1.30より、ステレオミックスエクスポート機能を追加しました。

## ステレオミックスエクスポート機能

録音されたMAIN MIX L / Rパスの個別の録音ファイル（モノラルファイル）を1つのステレオファイルに変換することができます。変換されたステレオファイルは、“MUSIC” フォルダ内に保存されます。保存されるファイル名は、たとえばソング名が「181228\_0002」の場合、「181228\_0002\_2-MIX\_01.wav」というファイル名で保存されます。変換されたファイルの大きさが2GBを超える場合は、末尾の数字が「02」、「03」…となり、複数のファイルが作成されます。

1. MAINのファイルを変換したいソングをあらかじめロードしておきます。  
ソングをロードする方法については、取扱説明書「第4章 ソングの管理」の「ソングをロードする」をご参照ください。
2. レコーダーが停止中に MENU 画面を表示して、STEREO MIX EXPORT 項目を選択します。



メニュー操作の方法については、取扱説明書「第2章 各部名称と働き」の「メニュー操作の手順」をご参照ください。

3. MULTI JOGダイヤルを押して、STEREO MIX EXPORT 画面を表示します。

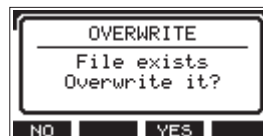


4. F4 YES ボタンを押すと、変換が開始されます。



## メモ

- 変換されたファイルがすでに存在する場合は、上書き確認のメッセージが表示されます。



- F3 YES ボタンを押すと、すでにあるファイルを削除して変換を開始します。操作の取り消し（アンドゥ）はできません。

- MAINのファイルが録音されていない場合は、変換することができません。以下のメッセージが表示されます。



- 変換中にF1 STOP ボタンを押すと、変換を中止します。中止するまでに変換した部分は、ファイルとして残ります。

5. 変換が完了すると MENU 画面に戻ります。

## メモ

変換されたファイルは、本機のSD PLAYモードで再生することができます。

SD PLAYモードの再生方法については、取扱説明書「第8章 各種設定および情報表示」の「SDカード内のWAVファイルを再生する（SD PLAYモード）」をご参照ください。